

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公開番号】特開2014-123949(P2014-123949A)

【公開日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-035

【出願番号】特願2013-262716(P2013-262716)

【国際特許分類】

G 06 F 3/023 (2006.01)

H 03 M 11/08 (2006.01)

H 03 M 11/04 (2006.01)

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/023 3 1 0 K

G 06 F 3/023 3 1 0 L

G 06 F 3/041 3 3 0 C

G 06 F 3/041 3 8 0 G

G 06 F 3/041 3 8 0 M

G 06 F 3/048 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月16日(2016.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

ディスプレコントローラ195は、制御部110により処理される様々な情報（例えば、通話、データ送信、ブロードキャスティング及び写真撮影を実行するために生成される情報）を受信し、この受信された様々な情報を表示部190により表示されることができるデータに変換し、このデータを表示部190に提供する。表示部190は、ディスプレコントローラ195から受信されたデータを表示する。例えば、表示部190は、通話モードである場合に通話に関連したユーザインターフェース（User Interface、UI）又はグラフィックユーザインターフェース（Graphic User Interface、GUI）を表示する。表示部190は、液晶ディスプレー（liquid crystal display）、薄膜トランジスタ-液晶ディスプレー（thin film transistor-liquid crystal display）、有機発光ダイオード（organic light-emitting diode）、フレキシブルディスプレー（flexible display）、3次元ディスプレー、及び電気泳動ディスプレー（electrophoretic display）の中の少なくとも1つを含み得る。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

図1B、図1Cを合わせ参照すると、モバイル装置100の側面100bには、例えば、電源／リセットボタン161d、ボリュームボタン161e、プロードキャスティングを受信する地上波DMBアンテナ141a、及び1つ又は複数のマイクロフォン162などが配置されてもよい。DMBアンテナ141aは、モバイル装置100に固定されるか、又は着脱可能であるように形成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

一方、タッチジェスチャーは、シングルタッチドラッグ及びマルチタッチドラッグを含んでもよい。シングルタッチドラッグは、図12A乃至図12Dに示すように、単一のタッチ入力によるドラッグジェスチャー入力を含んでもよく、マルチタッチドラッグは、図12E乃至図12Jに示すように、複数のタッチ入力が同一の方向に移動するドラッグジェスチャー入力（図12E乃至図12Hを参照）及び複数のタッチ入力が異なる方向に移動するドラッグジェスチャー入力を含んでもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0097

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0097】

上述した実施形態は、リモート記録媒体又は非一時的な機械可読媒体上に記憶されるか、ローカル記録媒体上に元来記憶された後、ネットワークを介してダウンロードされてもよい。上述した実施形態は、CD-ROM、ディジタル多用途ディスク(DVD)、磁気テープ、RAM、フロッピー(登録商標)ディスク、ハードディスク、光磁気ディスクのような記録媒体に格納することができるソフトウェア(又はコンピュータコード)、又は、ハードウェアで実現することができ、これにより、ここで説明した方法は、ASIC又はFPGAのような一般的な用途のコンピュータ、又は特定のプロセッサ、又はプログラム可能な又は指示されたハードウェアを用いて記録媒体上に格納するソフトウェアにより実行することができる。当該技術分野で理解されるように、コンピュータ、プロセッサ、マイクロプロセッサ制御部又はプログラム可能なハードウェアは、コンピュータ、プロセッサ、又はハードウェアによりアクセスされ実行される際に、ここで説明した処理方法を実行するソフトウェア又はコンピュータコードを格納するか又は受信するメモリ構成要素、例えば、RAM、ROM、フラッシュなどを含む。

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1A

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1A】

